



2018年4月25日
高松空港株式会社

国内線搭乗待合室の旧貴賓室にて セルフスタイルのコーヒースタンドをオープン

5月3日（木・祝）よりサービス開始

高松空港株式会社（香川県高松市香南町、代表取締役社長：渡部 哲也）は、2018年4月1日の民営化スタートに合わせて、国内線搭乗待合室の拡張・リニューアルを行い、旧貴賓室は国内線搭乗待合室として、利用者の皆様にご利用いただいております。

旧貴賓室は、空港にゆかりのあるイサム・ノグチの作品「タイム・アンド・スペース」の写真や照明「AKARI」が設置され、落ち着ける空間を演出しています。更に、皆様に寛いでいただけるよう、カフェサーバーを運営管理する㈱アペックスと連携し、最高級ブランドの豆を使った本格的で香り豊かな挽きたてのコーヒーを提供するセルフスタイルのコーヒースタンドを、全国の空港で初めて、旧貴賓室に設置します。

このコーヒーは、伊勢志摩サミットや外務省主幹の日本文化発信拠点「ジャパン・ハウス サンパウロ」で世界中の方にその美味しさを認められたもので、一杯ごとに豆から挽いてドリップします。また、香川県が世界に誇る夢の糖、希少糖を含有したシロップ「レアシュガースウィート」をご提供いたします。最高級ブランドのコーヒーと香川が誇る希少糖のハーモニーをお楽しみください。

※ ゴールデンウィーク期間中（5/3～5/6）は、オープンを記念して、下記のとおり、毎日先着200名様に無料でコーヒーをおもてなし致します。

サービス内容

1. 提供開始日
2018年5月3日（木・祝）9:00 オープン
2. 場所
高松空港 2F 国内線搭乗待合室内 旧貴賓室
（保安検査場を抜けて、左奥のスペース）
3. サービス提供期間・内容
5月3日（木・祝）～ 6日（日）6時～200名様分 なくなり次第終了
※3日は9時オープン
5月7日（月）～ 6時～最終便出発時まで販売（200円/杯）

旧貴賓室内観写真

